

誰もが豊かさを実感できる 「豊かさ共創基盤」構築プロジェクト



YAMANASHI

山梨県

自治体SDGsモデル事業 提案の背景

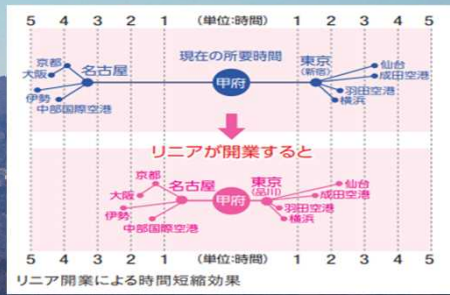


山梨県の地理的特性

- **東京圏に隣接した高い利便性**がある中、**豊かな自然環境を有する**といった、**全国でも希有な地理的条件を有する**。
- 清冽な水を使った水晶の研磨技術を礎にした、**「ものづくり産業」が盛ん**。
貴金属・ジュエリー製造事業所数全国1位、数値制御ロボット出荷額全国1位、半導体・IC測定器出荷額全国2位などに代表される、**製造業の割合が全国より高い**。
- 地理的に東京圏に隣接する中、中央自動車道・中部横断自動車道などの道路網や、JR中央本線・リニア中央新幹線を有しており、**ベースタウンとしての好適地**。
- リニア中央新幹線により、**東京圏・関西圏との移動時間が大幅に短縮**されるほか、中部横断自動車道は、**日本海・太平洋が結ばれる大動脈**となる得ることから、山梨の地が**日本の交通の結節点**になるともいえる。

- ・日本列島のほぼ中央に位置
- ・東京圏に隣接した高い利便性
- ・急峻な山々、清らかな水、恵まれた日照など豊かな自然環境を有する
- ・県土の約78%は森林（内46%は県有林）

「SDGs」を突破口に、地域課題に取り組み、強靱な社会基盤、誰もが活躍出来る社会を実現



2030年のあるべき姿

県民一人ひとりが豊かさを実感できる「豊かさ共創基盤」を構築し、選ばれる山梨県に進化する。

経済

全ての人がチャレンジできる
土台の整備

社会

生活基盤の保障と強靱化による
誰もが安心して暮らせる
地域の実現

環境

脱炭素社会の実現による
「上質な空間」の創出

各側面の主な取組

経済

課題

経済の活性化に向けた新たな企業価値の創造

取組の方向性

山梨の企業が持つポテンシャルを最大限に引き出すとともに、山梨県のリソース・アセットの活用による新たな企業価値の創造

具体的な取組

●メディカル・デバイス・コリドー2.0の推進

高い技術を持つ本県の機械電子産業は、医療機器分野へ進出できるポテンシャルを秘めていることから、「メディカル・デバイス・コリドー推進センター」を通じた参入に向けた支援を行い、県内一帯に医療機器産業を集積させる。



●水素・燃料電池関連産業の基幹産業化の推進

世界最高水準の水素・燃料電池研究機関が集積する「次世代エネルギーシステム研究開発ビレッジ」を立ち上げ、高度技術の研究開発を推進するとともに、関連企業の県内集積などに取り組む。



次世代エネルギーシステム研究開発ビレッジ

●スタートアップの県内集積とオープンイノベーションの推進

本県の強みや特色を生かした実証実験が県内各地で盛んに行われる環境づくりを進め、人材の交流を生み出し、イノベーションが創発される「テストベッドの聖地」としての地位を確立する。

社会

課題

一人ひとりの可能性を引き出す学びの場の提供

取組の方向性

誰一人取り残さない、一人ひとりに寄り添った、きめ細かな学習環境を整備し、全ての人の可能性を最大限に引き出す

具体的な取組

●少人数教育の推進

一人ひとりの子どもの可能性を最大限に伸ばすため、全国に先駆けて25人学級を導入し、児童と教師のコミュニケーションの増加・きめ細かな指導などを充実する。



令和4年度学級編制の基準

	県	国
小1	25人	35人
小2		
小3		
小4	35人	40人
小5		
小6		

本県では、小学校1年生・2年生に25人学級を導入しており、令和5年度からは、小学校3年生に導入する。導入効果を見極めながら、少人数教育の拡大を検討する。

●子どもの貧困対策の推進

貧困の連鎖を断つための教育機会の提供や、学校・家庭で相談できないことも相談ができるよう、いかなる家庭環境であっても学ぶことができ、多様な方との交流ができる中高生の居場所づくりに取り組む。

環境

課題

地球環境を保全する脱炭素社会の実現

取組の方向性

山梨県のリソースを最大限に活用した脱炭素技術の開発に挑戦し、県内のみならず、日本・海外の脱炭素社会実現にコミット

具体的な取組

●水素エネルギー社会実現に向けた実証研究の推進

太陽光発電など再生可能エネルギーの電力と水からグリーン水素を製造する「やまなしモデルP2Gシステム」の国内外での導入拡大及び県産グリーン水素の産産利用拡大に取り組む。



電力貯蔵技術研究サイト（P2Gシステム）

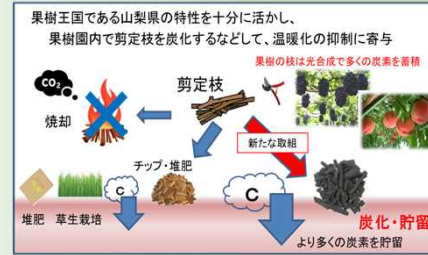
P2Gシステムの大容量化・モジュール化の技術開発実証を進める。

国内・海外でのP2Gシステム導入について積極的に働きかける。

●4パーミル・イニシアチブの推進

炭素を長期間土壌中に貯留する「4パーミル・イニシアチブ」の取り組みの県内農家への導入を促進する。

この取り組みによりつくられた農産物を認証し、地球温暖化抑制に貢献するという新たなブランド価値を創出するプロモーションに取り組む。



自治体SDGsモデル事業の概要



企業の人材育成に対する支援や地域資源・既存産業を効果的に活用することで企業の安定した成長につなげ、これらで得られる収益が、強靱な社会基盤の整備に投資される。強靱な社会基盤や最先端技術が絶えず生み出される環境を求め、山梨を選ぶ人や企業が増え、雇用拡大・所得向上、更には「集合知」の形成につなげる。



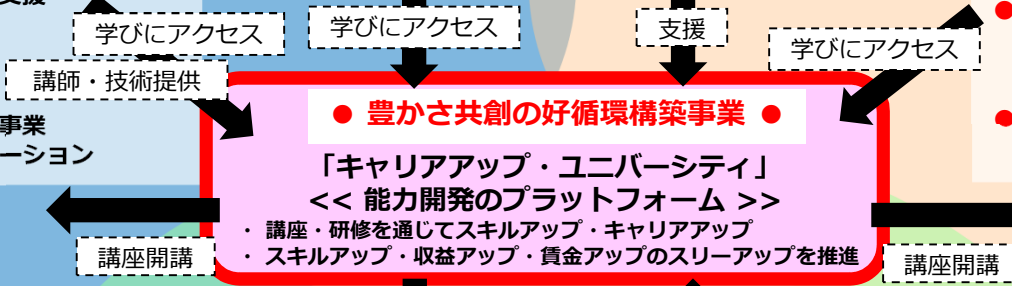
経済

課題…経済の活性化に向けた新たな企業価値の創造

- **メディカル・デバイス・コリドー2.0の推進**
研究開発支援 高度化・裾野拡大・海外展開
医療機器関連産業人材の育成
- **水素・燃料電池関連産業の基幹産業化の推進**
参入企業支援窓口設置 マッチング支援
出前講座 産学官など共同研究
- **スタートアップの県内集積とオープンイノベーションの推進**
支援拠点の整備 実証実験サポート事業
「テストベッドの聖地やまなし」プロモーション

やまなしSDGs推進企業
(登録制度の登録企業)

やまなしSDGs
推進プラットフォーム



- **水素エネルギー社会実現に向けた実証研究の推進**
やまなしP2Gモデルの更なる技術開発
県内外・国外への技術展開
- **4パーミル・イニシアチブの推進**
実証ほ場での更なる技術開発 認証制度の運用
全国協議会研修会

環境



課題…地球環境を保全する脱炭素社会の実現

社会



課題…一人ひとりの可能性を引き出す学びの場の提供

- **少人数教育の推進**
少人数学級の対象学年を順次拡大
アクティブクラスへの教員加配
モデル学級の創出
- **子どもの貧困対策の推進**
生鮮食料品の貧困家庭への提供
中高生の居場所づくり 学習機会の提供
- **誰でも・いつでも・どこでも学べる環境づくり**
スキルアップ・学習機会の創出



【事業名】豊かさ共創の好循環構築事業

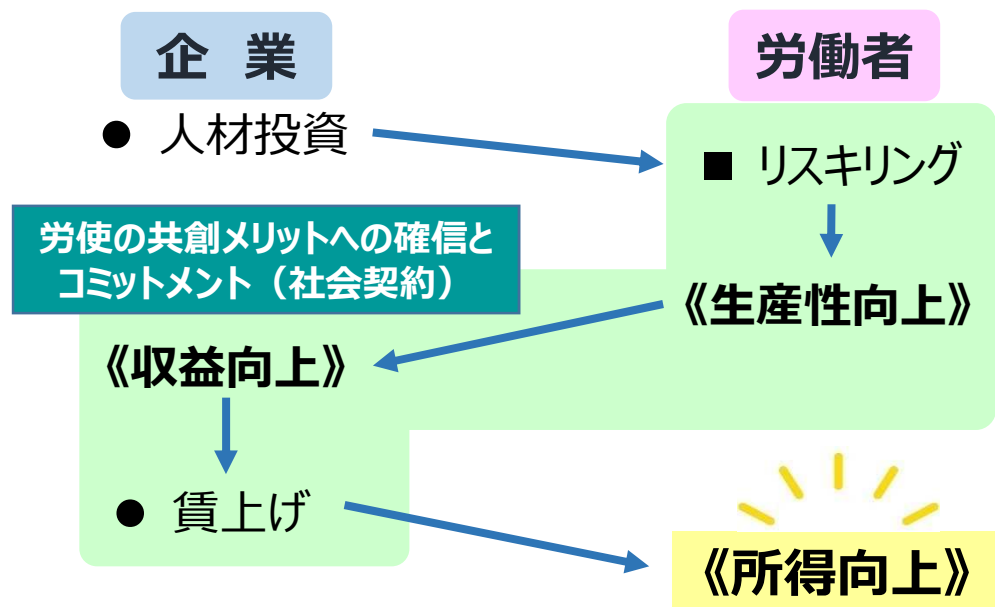
経済・社会・環境各側面に関係する「人」に対するリスキングやリカレント教育を支援するプラットフォーム「**キャリアアップ・ユニバーシティ**」を中心に、「働き手がスキルアップし、企業の収益が上がり賃金が向上する」という「**豊かさ共創の好循環**」を確立し、その豊かさを求める企業・人材を本県に集積させるプロジェクト

目指すところ 全ての県民が互いに価値と豊かさを育みあい・分かちあえる「**豊かさ共創社会**」

経済社会のあり方は

好循環 労使の共益関係のもと、働き手がスキルアップし、企業の収益が上がり、賃金も向上

《 豊かさ共創のメカニズム 》



《 政策的なブースター 》

メカニズム構築のための気運醸成

⇒ 共同宣言・協議会設置

リスキング支援

⇒ 労働者の付加価値向上へ

労使の共益基盤づくりを後押し

⇒ 能力開発から賃金アップに至る

「メリットへの確信」を労使が共有

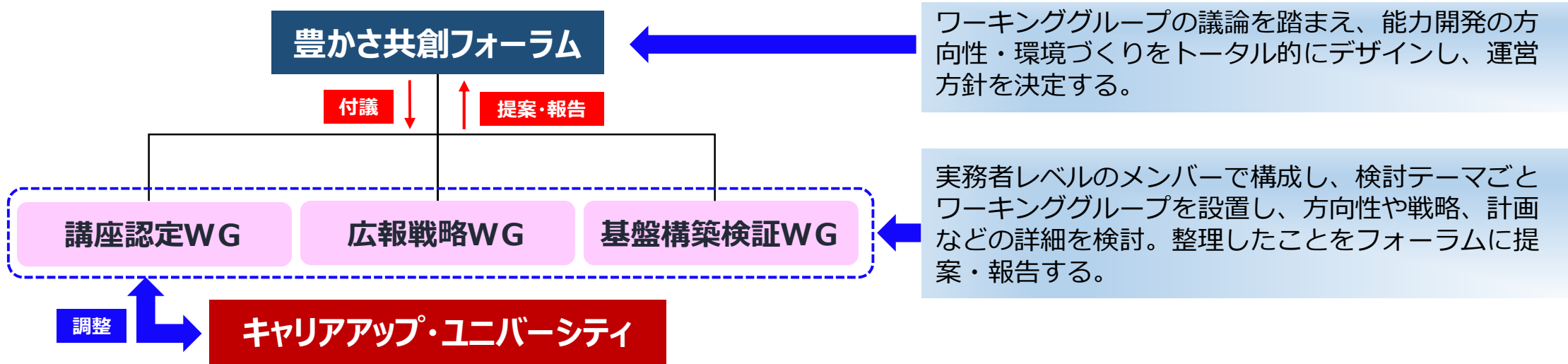
支える体制：『**豊かさ共創フォーラム**』（産官学労社広）



三側面をつなぐ統合的取組（補助対象事業の概要）②

Step1 「豊かさ共創フォーラム」の設置

豊かさ共創フォーラムは、豊かさ共創社会の実現に向けた推進エンジンとして、「**山梨キャリアアップ・ユニバーシティ（能力開発プラットフォーム）**」の運営方針を決定する機関とし、能力開発の方向性・環境づくりをデザインする産官学労社広(※)による共同体組織 ※ 産業界・民間企業、政治・行政、大学・教育機関・研究機関、労働組合、社会貢献団体・NPO・社会起業家、メディア、国民・県民



Step2 「キャリアアップ・ユニバーシティ」の設置

山梨で働く人のリスキリングを推進する拠点として、「**キャリアアップ・ユニバーシティ**」を設置し、**新たな価値を創造し、山梨の未来をリードする人材を育成**する。スキルアップした人材は、成長が見込まれる産業などで活躍。

【目指すべき人材像】

- ✓ 新ビジネスを創造するDX推進人材
- ✓ ものづくりの未来を支える現場変革人材
- ✓ 山梨の豊かさを伝えるホスピタリティ・共感力人材
- ✓ 山梨に風を巻き起こす新産業プロデューサー人材
- ✓ 革新的な事業を立ち上げるイノベーター人材
- ✓ 中小企業の高度化に向けた経営戦略人材

【成長が見込まれる産業】

- ① デジタルものづくり産業
- ② ホスピタリティ産業
- ③ サステナビリティ産業
- ④ スマート農業
- ⑤ 美酒・美食産業
- ⑥ コンテンツ産業
- ⑦ 中小企業の変革

スキルアップした能力を發揮

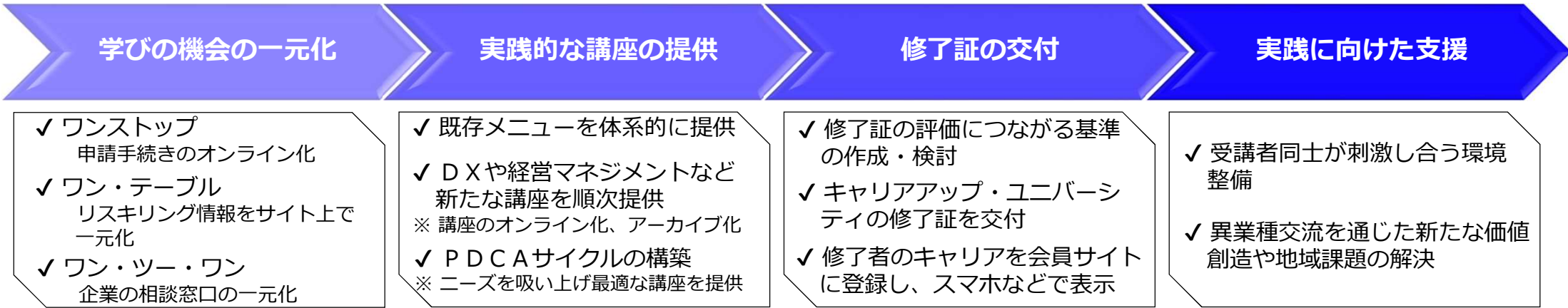


三側面をつなぐ統合的取組（補助対象事業の概要）③

Step 3 「キャリアアップ・ユニバーシティ」でのサービスの提供

県内外の教育機関等と連携し、企業の成長を支える生産力と創造力を生み出すリスキリングサービスを一気通貫で提供する。

【提供するサービス】



Step 4 県内への「豊かさ共創」の浸透

成功事例の創出を通じた「豊かさ共創」の全県への普及と、生涯を通じた「学び」の土壌を育む

「豊かさ共創」に向けた県民運動

- 【取組の方向性】
- ✓ メディアと連携した情報発信
 - ✓ キャリアアップ・ユニバーシティ活用企業のPR
 - ✓ 気運醸成に向けたイベント等の開催
 - ✓ 経営者・労働者の「学び」への動機づけ（意識改革）を図るためのセミナー開催
- など

修了者の交流・共創の場の確保

- 【取組の方向性】
- ✓ 成功事例創出に向けた支援
 - ✓ 成功事例の検証・PR
 - ✓ 交流活動・共創活動の活性化
 - ✓ 専用交流サイト・サービスの構築
 - ✓ 女性や障害のある方のキャリアアップ支援
- など

幼児からシニア世代まで、全ての世代を通じた学びの機会の環境整備

幼児～小中学生～高校生

山梨県の豊かな自然環境や県内で働く人々と触れ合い、学びながら、**自ら考えチャレンジすることの楽しさ**を知る

大学生

地域の企業と一緒に共創しながら、山梨県の地域課題や地域の魅力を知り、**自らの夢やビジョンを構想していく**

社会人

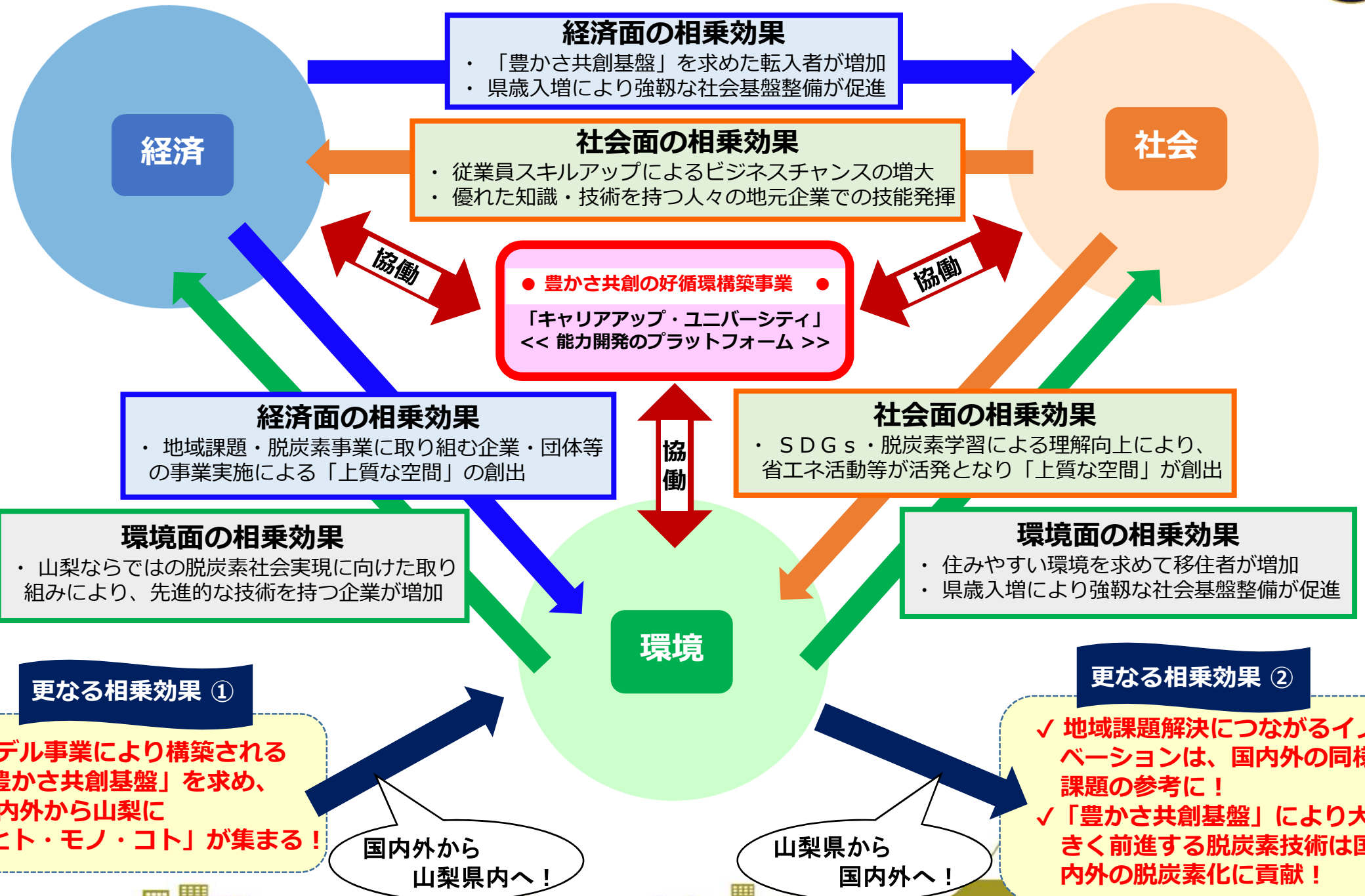
山梨県の将来の産業や人材を想像し、豊かな未来を描きながら、**自らに足りない技能・知識を身に付けていく**

シニア世代

人生100年時代を豊かに生きるために、これまでの知識や経験を活かしながら、**新たな知識を学びチャレンジしていく**



経済、社会、環境の各側面の相乗効果（統合的取組によって生じる相乗効果）



自律的好循環の具体化に向けた事業の実施 ①

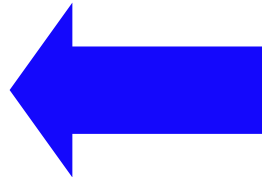
- ✓ 「やまなしSDGs推進企業」が、今回提案する「豊かさ共創の好循環構築事業」に積極的に参入できるよう、産官学広の連携体「やまなしSDGs推進プラットフォーム」からも支援する。
- ✓ 「やまなしSDGs推進プラットフォーム」構成団体が有するリソースを「豊かさ共創の好循環構築事業」に提供していただき、当該事業が持続可能な取り組みとなるよう支援する。

やまなしSDGs推進企業 (登録制度の登録企業)

- 令和5年4月現在、330者登録
※第1期・第2期募集の合計
- 推進企業と県は、協働した地域課題の解決を図る体制を築き、地方創生の取組を推進することとしている。
- 県施策と企業のリソースをマッチングする「交流セミナー」などを通じ、イノベーションを創出する。



企業のSDGs 推進を図るための 支援を実施



やまなしSDGs推進プラットフォーム

- 県内金融機関・経済団体・大学・報道機関などを構成員とする団体（34団体）。
- SDGsの理念の普及・企業等に対するSDGs達成に向けた資金融資・SDGsに関連する事業展開の支援などに取り組む。



< 令和4年9月 設立式 >

アクセスできる
仕組みを構築

リソースを提供するなど、
事業に対する支援

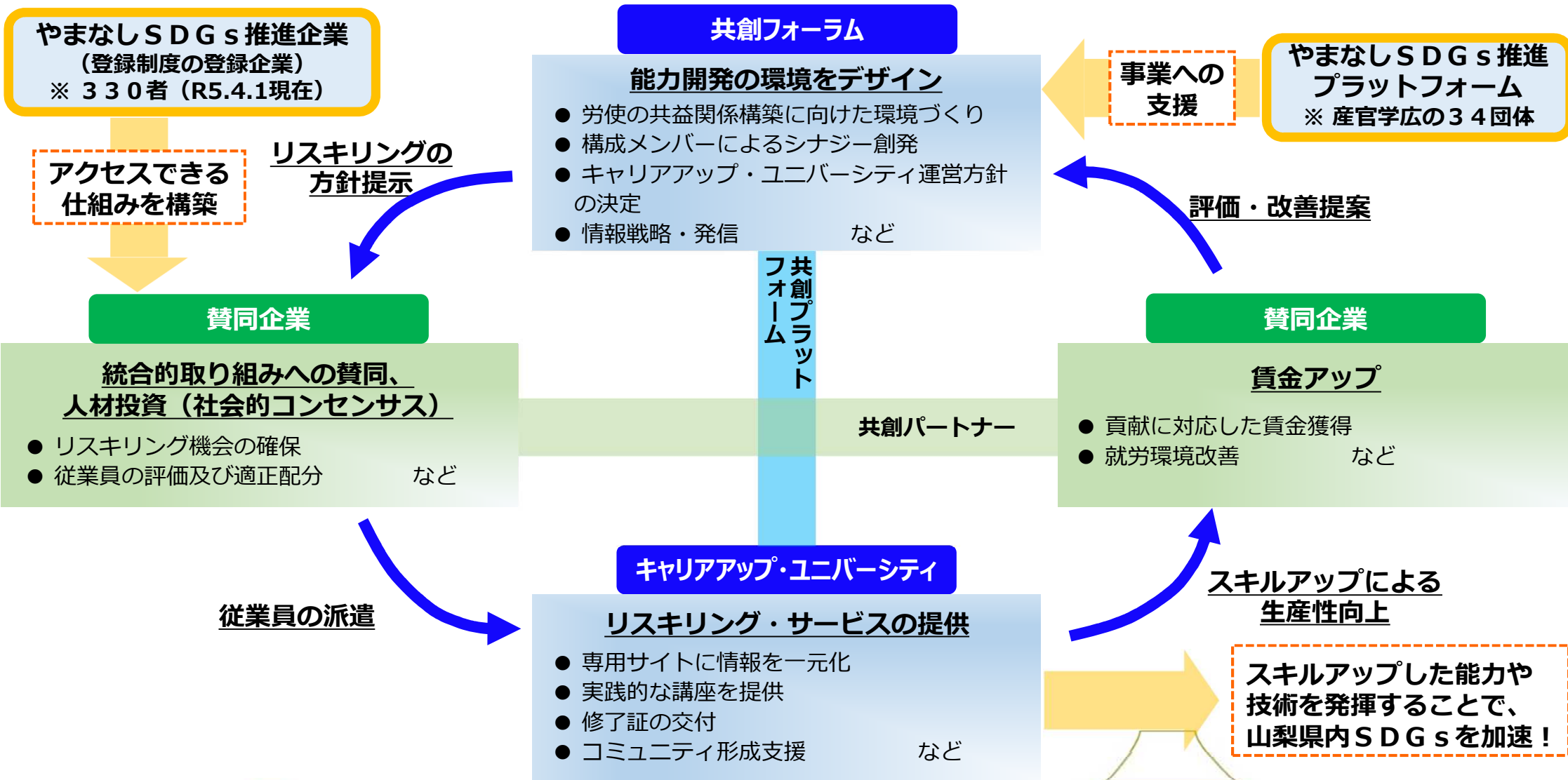
● 豊かさ共創の好循環構築事業 ●

「キャリアアップ・ユニバーシティ」
<< 能力開発のプラットフォーム >>



自律的好循環の具体化に向けた事業の実施 ②

- ✓ 本事業の検証・評価を「豊かさ共創フォーラム」が実施し、改善点などを速やかに「キャリアアップ・ユニバーシティ」に反映させることで、企業が求められるリスキングメニューを、「速やかに」「継続的に」提供することができる。
- ✓ **最先端かつ企業が求めるスキルアップ機会を絶えず提供**することで、事業の自律的好循環を目指していく。



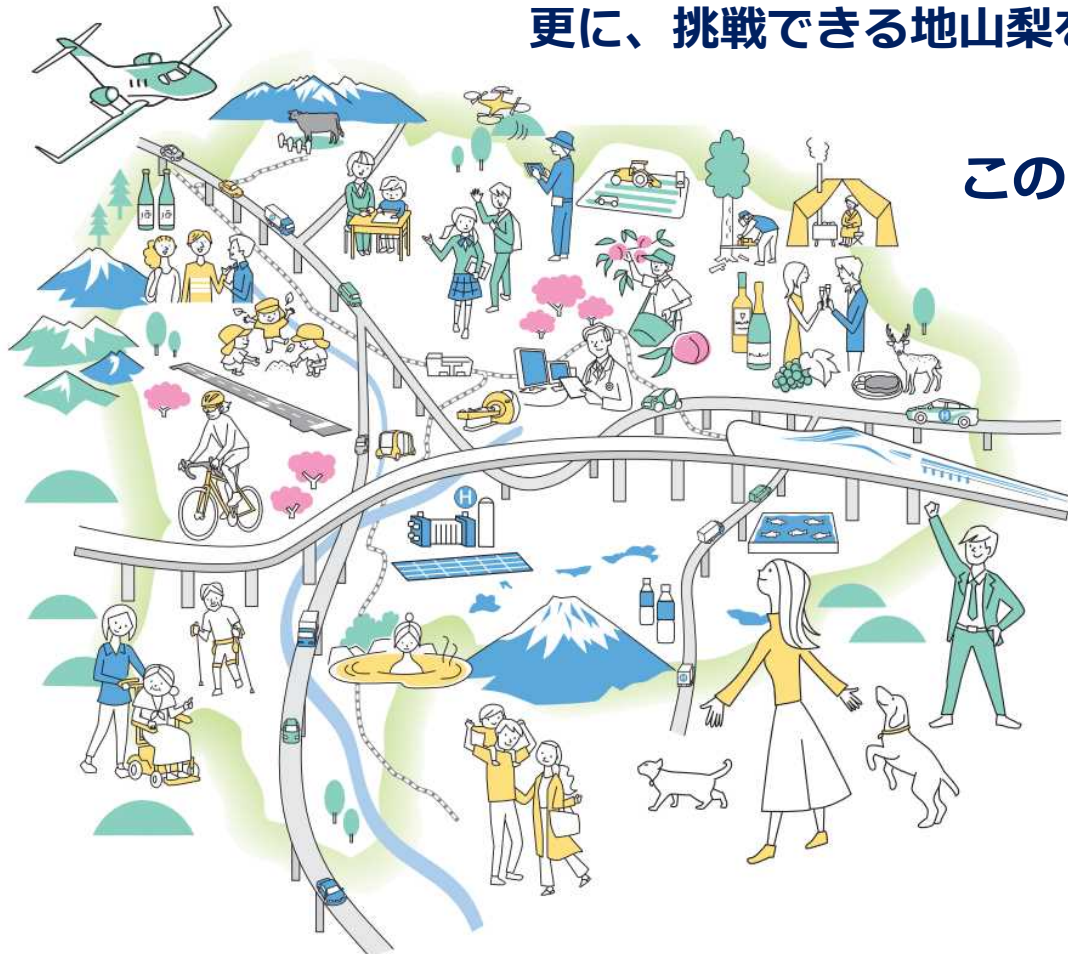
未来の山梨では、

**多様な価値観を持った人々が知恵を出し合い、
山梨の価値を高め、世界へ広げ、
生み出される価値は、県民へ還元されています。**

**ヒト・モノ・コトが絶えず混じり合うことより、イノベーションが絶えず創出され、
県民一人ひとりが豊かさを実感できる「豊かさ共創社会」が実現しています。**

**この「豊かさ」があることで、山梨県で生まれ育った若者は山梨県に定着し、
更に、挑戦できる地山梨を目指して国内外から多くの人々が集まります。**

このような好循環を、この山梨県で実現します。



山梨県